

第4章. 工業用水道編

1 事業の経緯

昭和59年12月	通商産業省に「富士町工業用水道事業」として事業届を提出
昭和60年8月	供給開始
平成19年2月	取水井戸の水位低下により送水停止。その後の調査により、取水井戸の最大可能揚水量が、操業当時の1,800m ³ /日から、352m ³ /日～267m ³ /日に低下していることが判明。これ以降、井戸水位低下による送水停止は起こっていない。
平成24年2月	配水池を新築移転し、有効貯水量を100m ³ から300m ³ に増加
平成27年4月	市長部局から佐賀市上下水道局へ事業移管

2 現在の給水状況

- 給水能力 1,000m³/日
- 基本料金 30円/m³ ※超過料金(基本使用水量超過分)40円/m³
- 供給先企業 3社

	企業名	基本使用(契約)水量	製造品	工業用水利用目的
1	三菱ガス化学(株)	120.0m ³ /日	超純水	製造品の原料
2	岩谷瓦斯(株)	100.8m ³ /日	水素ガス	製造品の原料
3	(株)プロセス・ラボ・ミクロン	100.0m ³ /日	メタルマスク	製造品の製造、機械の冷却等

○給水量

事項	単位	26年度	27年度	増減	比率(%)
年間給水量	m ³	47,361	39,927	△ 7,434	84.3
一日平均給水量	〃	120	114	△ 6	95.0

3 施設位置図



4 浄水場施設

富士工業用水道浄水場

主要施設		規格・規模	
取水施設	取水井	RC造り 2.6W×2.6L×2.0H(浅井戸)	
	取水ポンプ	水中ポンプ $\phi 80\text{mm} \times 2\text{段} \times 3.7\text{kw}$ $Q=1075\text{m}^3/\text{日}$	2台
浄水施設	着水池	RC造り 1.2m×0.9m×2.0m 有効容量 2.16 m^3	1池
	薬品混和池	RC造り 1.2m×1.2m×1.7m 有効容量 2.45 m^3	1池
	フロック形成池	RC造り 2.0m×2.0m×2.0m 2段 有効容量 13.6 m^3	2池
	薬品沈殿池	RC造り 2.0m×5.5m×3.2m 有効容量 35.2 m^3	2池
	送水ポンプ井	RC造り 5.0m×4.0m×2.3m 有効容量 46. m^3	1池
	ポンプ薬注室	RC造り 5.0m×7.0m 面積 35 m^2	1棟
	薬品注入設備	PAC及び苛性ソーダ灰	1式
	電気計装設備		1式
送水施設	送水ポンプ	多段タービンポンプ $\phi 80 \times 4\text{段} \times 15\text{kw}$ $Q=1000\text{m}^3/\text{日}$	2台
	送水管	ダクタイル鋳鉄管・水道用塗覆装鋼管・硬質塩化ビニル管 $\phi 200 \cdot \phi 150$ L=761m	
配水施設	配水池	RC造り 10m×5m×3m 有効容積 300 m^3	2池